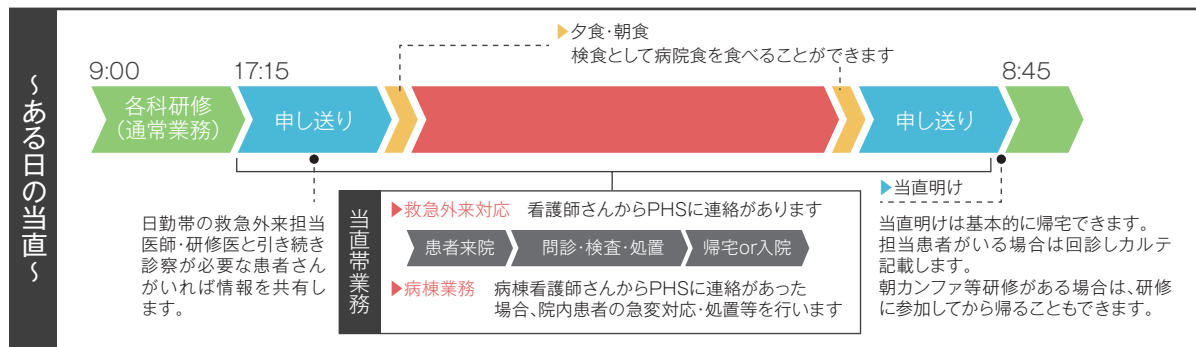


# 研修医の日常

## 当直業務（研修医はすべての診療科の業務に係わります）

研修医にとって当直業務は気になる場所だと思います。奈良県西和医療センターでは、内科当直、外科当直、小児科当直、ICU当直、CCU当直に上級医や指導医の先生が入っていますが、研修医も2名の当直体制を組んでいます。研修医の当直業務は、病棟の入院患者さんの診療だけでなく、救急外来の診療も担当します。内科、外科に関わらずすべての診療科の救急患者さんの初期診療（指導医・上級医がそばにいます）を行います。年間の救急車の搬送件数は2,000～3,000件に上りますので、忙しい当直業務ですが、みんな頑張っています。当直明けの翌朝に勤務から外れますので、原則的に帰宅できます。毎年実績では、研修医一人あたりの救急患者診療件数は年間500件平均です。ウォークインの患者さんから重症の救急搬送患者さんまで広範囲の診療に数多く当たりますので、あらゆる領域の救急対応において貴重な経験を積むことができます。このように一人当たりの経験数が非常に多いことが良いところでもありますが、その一方で忙しい毎日になることを覚えておいてください。

当直日誌



## 奈良県立病院機構忘年会

12月に開催される奈良県立病院機構（奈良県西和医療センター、奈良県総合医療センター、奈良県総合リハビリテーションセンター、奈良県立病院機構看護専門学校）の忘年会です。400人近いスタッフが集まって開催されます。スタッフオブザイヤーなどの表彰や互いの施設の情報交換もでき、楽しい忘年会です。



## 臨床研修修了祝賀会

毎年3月の第2金曜日の夜、大阪天王寺のマリオット都ホテルで、臨床研修修了祝賀会を開催しています。この日は、病院の医師全員が集まり、研修医の卒業をお祝いしています。研修医も2年間に指導を受けたたくさんの先生方に感謝のこぼれを送っています。後輩の研修医が卒業してゆく研修医の2年間をスライドやビデオにまとめ、みんなで笑ったり泣いたり、締めくくりの祝賀会です。

2019年度はCOVID-19のため中止にしましたが、2020年度は各自の家でビールジョッキを持ってWebで乾杯しました。

### 2020年度祝賀会 Web（オンライン）開催

### 2019年度祝賀会 Web（オンライン）開催

### 2018年度祝賀会



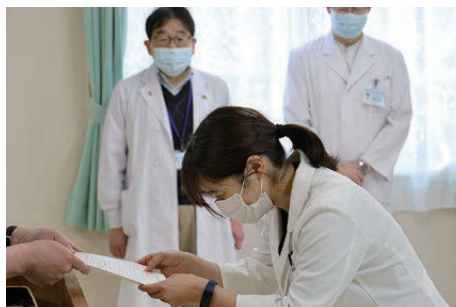
### 2017年度祝賀会



### 2016年度祝賀会



## 医師臨床研修修了証授与式



## 臨床研修医同窓会

毎年開催の臨床研修修了祝賀会ですが、4年に一度(夏季オリンピックが開催される年)には同窓会を兼ねることにしており、2016年に、第1回同窓会を開催しました。これまで巣立っていった研修医も今では、様々な施設で指導医として仕事をしています。現役研修医にとっても刺激になる同窓会です。2020年の同窓会はCOVID-19の影響で中止になりましたが、2024年(パリオリンピックの年)には開催したいと思っています。



## 研修医の集い in 奈良

毎年、晩秋から初冬にかけて開催される研修医の集い in 奈良では、奈良県下で研修をしている研修医が大集合して、いろいろなテーマでディスカッションします。2017年は奈良県西和医療センターと奈良県総合医療センターの研修医が開催当番にあたり、日本医療教授システム学会代表理事の池上敬一先生によるワークショップを行いました。後半は県内の研修医から集めたさまざまなアンケートの集計を発表し、三谷研修医のすばらしいトークでとても盛り上がりました。池上先生からは「さすが関西！」とのお褒め?の言葉をいただきました。



## 直近5年間の研修修了後の進路 (選択した診療科)

2017年度修了者(4名)		2018年度修了者(8名)		2019年度修了者(9名)		2020年度修了者(8名)		2021年度修了者(7名)	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1名	泌尿器科	1名	消化器内科	2名	行政(名古屋市)	1名	皮膚科	2名
麻酔科	1名	消化器外科	1名	呼吸器内科	1名	小児科	1名	耳鼻咽喉科	1名
循環器内科	1名	心血管外科	1名	腎臓内科	2名	産婦人科	1名	消化器内科	1名
形成外科	1名	眼科	1名	形成外科	1名	消化器外科	1名	糖尿病・内分泌内科	1名
		小児科	1名	小児科	1名	脳神経外科	1名	総合診療科	1名
		消化器内科	2名	放射線科	1名	救急科	1名	美容外科	1名
		腎臓内科	1名	医療行政等	1名	病理診断科	1名		
						精神科	1名		

## 先輩の声

奈良県立医科大学附属病院形成外科専攻医（2016年度研修医） 益田泰光（奈良県立医科大学卒）

こんにちは。私は2016年より西和医療センターで2年間初期研修をさせて頂き、2018年より奈良県立医科大学形成外科に入局し形成外科医として働いています。

現在は奈良から遠く離れた岩手医科大学でステップアップの為に研修させて頂いております。今になって思うのは初期研修での2年間はその後の人生において、すごく影響があるなということです。西和での2年間はとても濃いもので楽しいこと、しんどいこと、たくさんありましたが大きく成長できた期間であったと思います。お世話になった先生方、コメディカルの方々は今でも定期的に集まり当時の思い出を話したりします。初期研修は医学生にとって初めて社会人になる場所でありそれだけにどこで研修するか、とても悩むと思います。病院選びの第一歩である病院見学で西和医療センターを見学し、社会人そして医師としてのスタートをぜひこの病院で始めてみませんか。



益田泰光

奈良県立医科大学附属病院腎臓内科専攻医（2017年度研修医） 羽根彩華（奈良県立医科大学卒）

奈良県西和医療センターは良かったと実感しています。病院全体が研修医教育に熱心であり、指導医・上級医の先生方だけでなく、スタッフの方もとても親切で、日々指導していただいています。当直時や救急外来研修では、先生の手厚い指導の下で研修医が主体的に考え、行動する機会が十分に与えられています。1年目の4月に初めて救急外来に対応した際は何もわからず不安だらけでしたが、数多く対応していくことで、今ではある程度自分で考えて行動することもできるようになってきました。もちろん、ただ数をこなすだけではなく、一つひとつの症例から学ぶことができるように先生から指導していただいたり、疑問に思ったことを研修医同士で考える機会も設けられています。研修医の人数は15人前後という多すぎず少なすぎずという人数で、切磋琢磨し助け合いながら日々楽しく過ごしています。私たち研修医は、少しでも多くの学生さんが当院を初期研修先として選んでくれることを願っています。



羽根彩華



奈良県立医科大学附属病院小児科専攻医（2017年度研修医） 大西将央（奈良県立医科大学卒）

初めまして、小児科後期研修の大西将央です。私は西和医療センターで2年間の初期研修プログラムを終え、3年目は小児科後期研修医として引き続き当院にて研修を行いました。

西和医療センターでの研修は良くも悪くも研修先病院では比較的小規模な地域中核病院であることだと思います。良い点としては、小規模であるため研修医の数も少なめで、各科の先生達の垣根も低く、研修科以外の先生にも様々なことを教えていただけること、圧倒的な Common disease の症例数であると思います。また、コメディカルの方も数が限られてくるので仲良くなれ、医師からは教われない多方面からのアドバイスなどもいただけます。悪い点としては、大学などと比べると重症例や専門的な治療が必要である症例、カンファレンスの数などアカデミックな点に置いては正直劣っている部分であると感じます。ただ、それを補う方法として、研修2年目で約6ヶ月まで奈良医大等の他病院での研修を選択することができます。私は、西和医療センターに無い科（精神科や3次救急）や3年目から専攻予定であった小児科を大学で研修しました。西和医療センターでありふれた症例をしっかり学び、2年目で将来専攻する予定の科について大学病院などでさらに専門的な知識をつけることが可能です。

また、神奈川県の三浦市にある三浦市民病院での研修を選択することができ、訪問診療などを経験することもできます。日々忙しい中、違う環境で研修ができリフレッシュもできました。さらに、県職員対抗のソフトボール大会やみんなで斑鳩町のマラソン大会に出場するなど飲み会以外にもイベントが多く楽しく研修生活を過ごすことができました。

このパンフレットを見てくれている方は、西和医療センターでの研修を考えてくれていると思います。この紙面上では説明しきれないこともたくさんありますので、是非一度病院見学に来てくださればと思います。お待ちしております。



大西将央

奈良県医科大学附属病院泌尿器科専攻医（2017年度研修医） 小田侑希（奈良県立医科大学卒）

（現 西和医療センター泌尿器科勤務）

私は2017年4月から2019年3月まで奈良県西和医療センターで初期研修を行い、2019年4月より奈良県立医科大学泌尿器科で後期研修医としておりました。そして、2020年の4月より西和医療センターの泌尿器科の医員として働くことになりました。この度当院での初期研修について紹介する機会をいただきましたので簡単ですが紹介させていただきます。

当院での初期研修では、初期研修医に必要な知識や技術を2年間で十分学ぶことができます。また、研修のプログラムとして当院以外に奈良県立医科大学や奈良県総合医療センターへの研修も可能であり、2年間でいろいろな施設に研修できるため研修の自由度が高いと思います。私は、救急科を奈良県総合医療センターで、泌尿器科を奈良県立医科大学で研修し、複数の異なる環境を体験でき大変勉強になりました。

地域医療研修では神奈川県の三浦市立病院に1ヵ月研修し、奈良県とは違う地域医療を体験できることも魅力の一つです。

当院の院内セミナーは年々充実し、現在では適度は数で良質な講義を受けるようになっております。研修医主体で開く勉強会なども多く、医師として必要な発表する能力などが自然と養われます。日々の診療で自学自習が難しくてもセミナーや勉強会に出ることでカバーできる体制が整っております。

当院での初期研修で培ったことはその後の医師人生のバックボーンとなっていると実感しております。ぜひ当院での研修を検討してみてください。



小田侑希

奈良県医科大学附属病院消化器・総合外科専攻医（2017年度研修医） 曾我真弘（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2017年度採用の外科の曾我と申します。

初期研修2年間は奈良県西和医療センターで研修し、その後奈良医大に入局しました。病院の特色として医師・看護師など病院にかかわる人が親しみやすく、アットホームで、すぐに溶け込むことができました。また外科と内科の垣根も高くなく、気軽に相談しあえる関係で仕事もスムーズに進みます。当院での初期研修2年間はとても充実したものであったためこれから当院で研修する先生方は今後の医者人生においてとても有意義であると思われる。教育熱心な各科の先生方に加えて外部講師を招いて行われるレクチャー、エコーなどの手技の実習も豊富です。必ず研修医の先生方の力になると思います。まず当院に見学に来てみて雰囲気を感じてください。当院で研修したくなること間違いなしです！



曾我真弘

2018年度研修医 田畑成美（関西医科大学卒）

初期研修の2年間は忙しくも楽しい、非常に充実した時間でした。私が感じた当院の魅力についてご紹介したいと思います。

まず何よりお伝えしたい当院の特徴は、アットホームな雰囲気です。各診療科の垣根が低く、コメディカルのスタッフの方々は大変親切です。一緒に働くスタッフの方々から日々多くのことを学ばせて頂きました。

さらに当院のプログラムの特徴として、他院でも研修できることが挙げられます。大学病院と比較すると市中病院は診療科数が少なく、研修できる診療科も限られてしまいます。しかし、当院では希望すれば研修2年次に他院で研修を行うことが可能です。複数の病院で研修できる市中病院は多くはありません。実際に私は当院にはない神経内科や精神科を他院で選択しました。普段とは異なる環境で働くことができたことも大変良い経験になりました。医師としての最初の時間をぜひ当院で過ごしてみませんか。まずは一度見学に来て、当院の雰囲気を肌で感じて頂ければと思います。



田畑成美



奈良県立医科大学附属病院小児科専攻医（2018年度研修医） 田丸遙菜（奈良県立医科大学卒）

2018年度採用の田丸です。私が当院での初期研修を選んだ理由としては、同期が多すぎずまとまりが良さそうなことや研修医の教育に情熱を持って病院全体で行っていること、研修医2年目になるとそれぞれに合わせた研修プログラムを組めることでした。教育に力を入れたプログラムで、救急患者さんの対応や入院患者さんの管理はもちろん行いますが、心電図やエコー、感染症、画像の読影などについてレクチャーがあり、一人で学ぶよりも見て聞いて実践することでより多くの事を吸収することが出来ました。特にエコーは一人で学ぶには限界があるので、上級医の指導のもと研修医同士でエコーの練習をすることで手技が身に付けることができました。普段の業務の中でも疑問があるときは上級医の先生方が理解できるまで丁寧に教えてくださるので、日々多くのことを吸収することができました。毎日学ぶことが豊富にあり充実した研修医生活を送ることができ、医師としてスタートを切る病院として西和医療センターを選んで良かったなと思っています。興味を持たれた方はぜひ一度見学をして雰囲気確かめてください。



田丸遙菜

奈良県立医科大学附属病院腎臓内科専攻医（2018年度研修医） 北村俊介（奈良県立医科大学卒）

（現西和医療センター腎臓内科勤務）

初めまして。2018年度採用の北村俊介です。

西和医療センターの2年間の初期研修を終えて、自分が感じたことを述べさせていただきます。市中病院であり、common disease や手技の機会が豊富で、自分が研修していない他科の上級医とも話しやすく、なんでも学ぶことが出来る環境は整っていると思います。

同期の数も10人程度で、とても仲良くなりやすい人数ではないでしょうか。

医師としてのスキルが上げる機会が多いのはもちろんですが、中規模の病院であり、すべてのスタッフとの距離が近く、研修医も入ってチーム医療を行うことが出来、今後の自分自身の医師としての振る舞い方を考える事ができる、充実した2年間の研修を送れると断言できます。

学生での病院実習と医師として働きだしてからは、自分自身の医療に対する意識や責任が全く違い、戸惑うことも多いかと思えます。

当院であれば、そんな不安も全くなく、2年間充実した研修が送れます。

是非一緒に働きましょう。



北村俊介



奈良県立医科大学附属病院腎臓内科専攻医（2018年度研修医） 芝田洋輔（関西医科大学卒）

（現西和医療センター腎臓内科勤務）

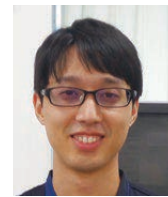
初めまして、内科専攻医の芝田です。私はたすき掛けプログラムのため、研修1年目を大学病院（奈良県立医科大学付属病院）で行い、2年目から西和医療センターで研修を行いました。今回は研修を通じて感じた大学病院と市中病院の違いについて紹介させていただきます。

まず病棟業務についてです。大学病院の入院患者は専門性が高く、専門的な知識を学ぶことができる反面、研修医が自分で考えて検査や処方ができる機会は多くありませんでした。西和医療センターはもちろん専門性の高い患者もいますが、common disease の患者も多いため、報連相をしっかりすれば大学病院よりも臨床に関われる幅が広いと思います。

次に当直業務についてです。大学病院の当直は診療科ごとの当直が多く、研修医1年目であったこともあり、ファーストタッチは上級医が行うことが多かったです。研修医は上級医の指示に従い、採血などのサポートを行っていました。西和医療センターの当直は研修医1年目から内科救急当直を行います。基本的にファーストタッチは上級医の指導のもとで研修医が行い、自分で考えて検査や治療ができる機会が多いです。もちろん、分からないことがあれば上級医が快く相談に乗って下さり、事前の情報で研修医のみでの対応が難しいと予想される場合は上級医も初療に加わって下さります。現在内科専攻医として当直業務を行うにあたり、研修医時代の経験が生きていることを実感しています。

また、大学病院は研修医の人数が多く、診療科ごとの講義はありますが全体に向けた講義はほとんどありませんでした。西和医療センターは研修医の人数が限られている分、講義が充実しています。専門の先生が分かりやすく教えて下さるため、心電図やエコーなどについて自学自習よりも深く理解できたと実感しております。

見学に来て頂ければ、より違いを実感することができると思いますので、ぜひ1度当院にお越し下さい。

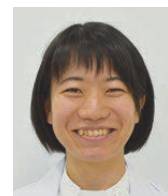


芝田洋輔

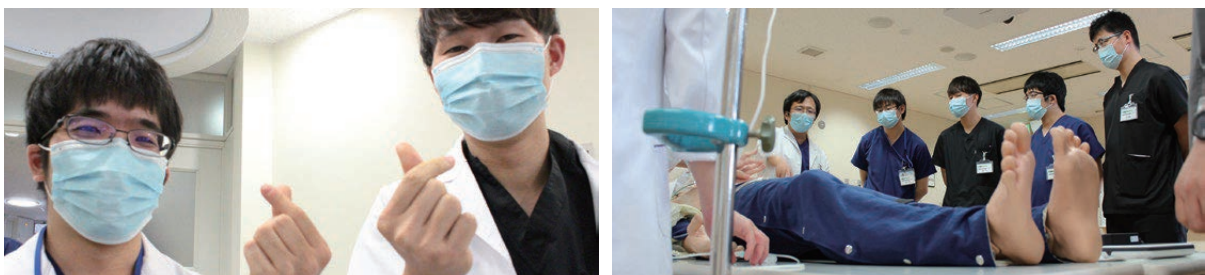
2019年度研修医 宇野春日（奈良県立医科大学卒）

2019年度採用の宇野と申します。私が研修医として勤務していた際、一番気に入っていたのは立地環境です。生活の質の向上には、施設設備や研修プログラム以上に病院や家の環境が重要です。奈良県西和医療センターのある王寺は街の住みこちランキングで全国1位に輝いた魅力あふれる街です。さらに西和の研修医用借上げ住居は他病院の研修医から羨ましがられるほどでした。私生活でしっかりと休養できる分、仕事にも身が入り充実した研修医生活となりました。残念ながら詳細をご説明するには文字数が足りませんので、ぜひ見学時に質問してみてください。

私は3年目以降の進路として公衆衛生医師を選び、今は名古屋市保健所中保健センターで勤務しています。入職後すぐ新型コロナウイルス感染症の「第4波」が到来し、最前線で感染症対策にあたりました。行政医でありながら臨床に従事する場面が多々ありましたが、西和で感染症関連業務や郡山保健所研修など経験していたおかげで円滑に業務にあたることができました。西和ほど研修プログラムを進路に沿うよう柔軟に調整いただける臨床研修病院は貴重だと思います。またどんな進路を選んでも応援し支えてくださる懐の深さに救われていました。改めてご指導いただいた先生方や職員の方々ならびにご尽力いただいた事務の皆様にご挨拶申し上げます。



宇野春日





奈良県立医科大学附属病院小児科専攻医（2019年度研修医） 久保昂司（奈良県立医科大学卒）  
（現西和医療センター小児科勤務）

こんにちは。

当院で2年間の初期研修を修了し、3年目も小児科医として引き続き当院に配属されていました久保と申します。

2年間の研修に飽き足らず、3年目を迎えた私がまず言っておきたいことは初期研修の病院として西和医療センターを選んでよかったと思っているということです。これは研修終了時に同期が口を揃えて言っていたので、お気に入りポイントは人により違えど、まあそういうことなんだろうなと思います。

数ある中のお気に入りポイントをいくつか紹介します。

1つ目は、研修医のために数多くのレクチャーや講義が組まれている点です。これらの講義では上級医の先生方が事前にポイントを絞って準備をしてくださり、わかりやすく、またフランクな形で進めてくれるため、前向きに参加しながら様々な知識や手技を身につけることが出来ます。病院に用意してもらわなくても研修医向けの勉強会そのものはたくさん開催されていますが、自分で参加するものは興味のある分野だけに偏ってしまいがちです。興味を限定せず勉強する機会を得ることができるという点で良かったと思っています。さらにもう一つの利点として、自分が回った、回っている科以外の先生ともコミュニケーションを取る機会が常にあり、研修医にとって相談しやすい環境が自然と出来ていたことも良かった点です。

2つ目は、先生方はもちろんコメディカルの方々も含めて研修医を育てようという雰囲気、体制がある点です。これは当院で研修するにあたっての最大の魅力であると思います。上級医はもちろん、コミュニケーションをとる機会の多い看護師さんや技師さんなど病院で働く全員が温かく接してくださるので1年目の右も左もわからない状態の時から安心感の中で研修を行うことができます。また、私の研修2年目はCOVID-19という新たな脅威に対して研修医も含めて病院全体で奮闘するという予想外の出来事が起こった年でした。そんな時でも研修医の外病院での研修や勉強会の参加の仕方など、できるだけ研修不良にならないようにと常に研修担当の先生方が困りごとはないかヒアリングしてくださり対応してもらったことで研修を無事終えることができたと思っています。臨床面においても、内科救急当直ではファーストタッチを任せられ、問診、身体所見、鑑別、検査、治療を多岐にわたって考え、上級医の先生の指導の下でフィードバックもすぐにしてもらえるため、常に様々な疾患や考え方に触れることができ、日々成長を実感しながら勉強することができます。年間500件程度の救急のファーストタッチを行います、数以上の知識、学びを引き出ししてもらえます。

まだまだありますが、少々長文となっているのでこのあたりで…。

少しでも気になりパンフレットを手にとってこのページを、この長い文章をここまで読んでくれた皆さん、これも何かのご縁かもしれません。まずは是非、西和医療センターの見学に来てみてください。私の稚拙な文章では伝わらない当院の魅力をはっきりと感じ取ってもらえると思います。さらにご縁があれば、一緒に働きましょう。



久保昂司



2019 年度研修医 坂元優太（奈良県立医科大学卒）

奈良県西和医療センターで初期研修を修了し、現在は奈良県立医科大学付属病院で勤めております、坂元優太と申します。奈良県西和医療センターの研修生活について微力ながらお伝え出来ればと思います。

初期研修医の二年間は医師として、社会人として少しでも一人前になれるように日々の研修生活を送ることが重要ですが、同時に自分自身の今後の進路についても考えていかなくてはなりません。学生時代から自分の志望科が明確な方もいますが、大部分の方は初期研修医中に志望科を選択しています。奈良県西和医療センターは研修内容の自由度が高く、自分の進路が明確になりつつある初期研修医一年目の冬に初期研修医二年目のプログラムを決定することが出来ます。志望科として悩んでいる科を幅広く回ることも出来ますし、自分の志望科が明確な人は自分の科に関与しうる科を中心に研修することが出来るため初期研修医にとっては非常にメリットが大きいです。また病院全体として研修医を熱心に指導しようとする風潮があり、日々の病棟業務、当直業務、勉強会等の研修生活を送っていく中で少しずつ成長を実感することも出来ます。また他府県への交通の便が良いことも魅力の一つです。少しでも当院に興味を持たれた方は是非一度見学にいらしてください、お待ちしております。



坂元優太

2019 年度研修医 助川正泰（東北大学卒）

2019 年度採用の助川です。私は元々出身が関東で東北の大学を卒業しており、奈良県はおろか関西地方で生活したこともありませんでした。縁あって奈良県西和医療センターで研修することになりましたが、研修前は正直不安な気持ちが多かったと言えは嘘になります。しかし実際に研修医として働き始めて今感じることは、この病院で研修することができて本当に良かったという事です。病院全体がアットホームな雰囲気です。研修医を教育する意識が浸透しており、分からないことがあっても指導医の先生方やコメディカルの方々がとても親切に教えてくださいます。また、心電図やエコー、放射線読影などの日々の様々なレクチャーも充実しており、研修医は優先的に出席することができるというのも研修医の学ぶ環境として非常に優れた当院の特徴の一つであると思います。

この限られた文字数では全てを語ることは出来ませんが、当院でなら楽しくも充実した研修を送ることができることは保証します。奈良県にゆかりのある方はもちろん、ゆかりがなくても興味を持って頂いた方は是非一度病院見学に来て当院の雰囲気を感じてください。我々が文字や言葉で語るより多くの魅力を感じることができると思います。お待ちしております。



助川正泰

2019 年度研修医 三好智浩（奈良県立医科大学卒）

こんにちは。2019 年度採用の三好です。新しい環境に身を置くと、自分 1 人では解決できないことが必ずでてきます。そのときに頼れるのは先輩医師や、看護師をはじめとしたコメディカルスタッフ、そして同期です。西和医療センターには、疑問が適切に解決され日々の成長に確実につなげられる環境があります。そしてその成長は私自身も日々感じ取りながら仕事できており、充実しております。

また同期は約 10 人と適度な人数なので、一人当たりの症例数が過不足なく、一つ一つの症例が消化不良にならずに、どうすれば次に活かせるかをしっかり吟味することができるのも良い点と言えます。

日々の勉強会も充実しているのですが、学生のころと異なり、対話形式の講義が多く、記憶に残りやすいため、一



三好智浩



人で学ぶよりも効率的であると思います。

立地に関しても、王寺駅が最寄りなので大阪の市街地に比較的アクセスしやすく、仕事終わりや休日のリフレッシュもとりやすい環境です。

当センターの魅力は写真や文章だけでは伝えきれません。ぜひ一度お越しいただき、当センターのあたたかい雰囲気や教育への想いを感じ取っていただければ幸いです。

#### 2019年度研修医 中川龍太郎（奈良県立医科大学卒）

2019年度採用の中川です。西和医療センターの魅力をいくつかご紹介したいと思います。

ひとつは研修医の人数です。当院の初期臨床研修医は、1年目2年目ともに8名という人数ですが、これが多すぎず少なすぎず、絶妙な人数だと感じております。症例の取り合いなどは起こらず、全員に均等に機会がやりますし、かといって負担になりすぎることありません。日々数多くの症例や手技を丁寧に指導いただけて、すぐに実践するチャンスがやってくるのは非常に大きいポイントだと思います。

つぎに挙げたいのは、柔軟な臨床研修プログラムです。2年目からは各々自由に回る科を選択することができますし、病院も奈良県立医科大学附属病院や、奈良県総合医療センターなどで研修させていただくことも可能です。自らの関心のある診療科や当院では研修できない科を、他の病院で研修させていただけるのは、非常に優れたプログラムと考えます。

最後に挙げるのは、豊富な勉強会です。優しく教育熱心な先生方による勉強会は、明日からの臨床現場で生かされるものばかりで、毎回多くのことを吸収できます。

少しでも興味をもっていただけたら、ぜひ西和医療センターへ見学に来てください。研修医一同お待ちしております。



中川龍太郎

#### 2019年度研修医 伴理紗子（東北大学卒）

2019年度採用の伴理紗子です。この度は奈良県西和医療センターに興味を持っていただきありがとうございます。当院での研修は毎日が充実しております。研修医としての日々の業務に加えて、多くの勉強会が開催されており、毎回たくさんの方のアドバイスをいただいております。

当院の良いところの1つとして、病院全体がアットホームな雰囲気であることです。上級医の先生はもちろんのこと、看護師やコメディカルの方々、皆さんが親切で分からないことがあっても丁寧に教えてくださいます。また1年目の研修医数が8人と少数であることから、一人一人覚えてもらえて、何かと気にかけてくださいます。

約300床と中規模な病院ではあるものの救急外来では多くの疾患を経験することが出来ます。研修医は上級医の指導の下に初期対応を任せられる機会が多く、自分で考えて行動しなければならない場面が多々あります。初めの頃は検査一つにしても悩むことばかりでしたが、上級医がフィードバックしてくださるので、成長の出来る良い機会です。興味のある方は一度気軽に見学いらしてください。

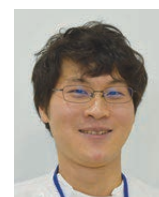


伴理紗子



2019年度研修医 前防克也（関西医科大学卒）

初めまして、前防克也と申します。私は2021年3月まで奈良県西和医療センターで初期研修をしていました。西和医療センターでは研修医のための様々な勉強会があり、実践的な知識を学ぶことができます。2020年は中止になりましたが、医療器具メーカーの施設を借り、泊まりがけで心肺蘇生や様々な手技のトレーニングをするイベントも毎年開催されていました。宿泊施設では温泉を楽しみ、宴会も行われ、良い思い出になりました。研修医自身が様々なテーマ（頭痛、腹痛、発熱など）についてまとめて発表する勉強会や、大和川メディカルアカデミーという院内学会もあり、指導医の先生方のアドバイスを受けながら、人前で発表する経験も積むことができました。研修科については、最初に内科で基礎的な知識を学ぶことになっており、当直などにもある程度対応できるようしっかりと指導していただけます。基本的にどの科でも担当症例数を調節し、各症例に関して考察する時間を多く設けていただけます。そのため一つ一つの症例について深く理解することができ、考える力を養えます。手技についても経験する機会が多くあり、習得しやすい環境が整っています。2年目はかなり自由に科を選択でき、奈良県立医科大学附属病院など他院で研修することも可能です。西和医療センターでは指導医の先生方ももちろん、スタッフの方々全員が研修医に対して丁寧に接していただけます。コミュニケーションの取りやすい雰囲気、病院全体で研修医を受け入れ、育てようとしてくださっているのだと感じます。私は研修に関する悩みで指導医の先生に相談させていただいたことがありますが、真剣に話を聞いてくださり、とても気持ちが楽になりました。今でも感謝しています。



前防克也

2020年度研修医 衣川博貴（奈良県立医科大学卒）

こんにちは。2020年度採用の衣川です。この度は当院に興味を持っていただきありがとうございます。西和医療センターでの研修は、私が思っていた以上に充実していて、非常に手厚い研修を受けさせていただいていると感じています。研修医として働いてみると分かるのですが、一年目の研修医なんて学生とほぼ変わらず（特に私の場合がそうなのかもしれませんが）、上級医やコメディカルの方々に迷惑をかけることばかりです。しかし、そんな私でも当院のすばらしい指導医の先生方、またスタッフの方々のご協力のおかげで、少しずつ医師としての一歩を踏み出していけていると感じております。当院での研修の魅力の一つを挙げるなら、やはり救急外来での内科救急のファーストタッチを行えることがあるでしょう。当院は西和地域の二次救急までを請け負っていますが、内科的救急疾患の初期診察、必要な検査オーダーなどは研修医が行うことになっています。症候、身体所見に応じた鑑別を挙げ、必要な検査、治療を考える作業はその全てが難しくも非常に実になるもので、学ぶことが尽きません。もちろん、指導医の先生のもとで行うのでいつでも相談することができますし、フィードバックもしていただけます。研修サポートという側面での魅力の一つを挙げるなら、当直の翌日は基本的にお休みを頂けることができるでしょう。研修させて頂いている身ですがしっかりと休養を取らせていただけ（先生方も基本的に快く休養を勧めてくださいます）、次の日からまた全力で研修に励むことができます。そのほかにも、研修医室にはパソコンが一人一台用意されていてカルテも開けること、多くのレクチャーがあること、立地がとても良いことなど、当院の魅力は挙げればキリがありません。ぜひ一度当院に足を運んでみてください。皆さんの見学を心よりお待ちしております。



衣川博貴



2020年度研修医 中川穂香（奈良県立医科大学卒）

初めまして。2020年度採用の中川です。

奈良県西和医療センターでの研修内容に興味を持っていただきありがとうございます。

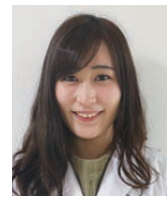
研修を終えて改めて感じた西和医療センターの魅力について少しでもお伝えできたらと思います。

当院での研修の一番の魅力は、教育熱心な先生方と親切に接して下さる医療従事者の方々だと思います。

私は最初に内科を4ヵ月ローテートしたのですが、指導医の先生方が業務の合間を見つけて、研修医に手技を指導する時間をとってくださったり、症例の文献を検索し教授して下さったり、忙しい外来の合間にも外来患者さんを一人一人説明し指導して下さったりと、熱心に指導して下さり充実した日々を過ごすことができました。

また、研修を始めた当初はわからないことばかりで落ちこんでしまうことも多かったです。共に働く看護師さんが「いずれはできるようになるから」と励まして下さったり、指導医の先生が「疲れてない？頑張ってるね」と声をかけて下さったり、温かい環境に励まされていました。

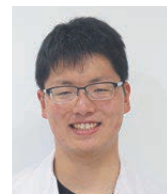
もちろん他にも様々なレクチャー、外部の先生との勉強会、気楽に過ごすことができる研修医ルームなど、語りつくせない魅力がたくさんあります。少しでも興味を持っていただけたら、一度当院に足を運んでいただけたらと思います。



中川穂香

2020年度研修医 畠健悟（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2020年度採用の畠健悟です。当院の研修は1年目は内科系など必修科を中心に回ります。そこで、カルテの書き方、処方仕方など基本的なことから診断・治療に必要な知識など医師としての基本を学びます。研修医の数が少なく、症例・手技を取り合うことなく多くを経験させていただいております。最初は学ぶことが多く、簡単なことでも時間がかかり苦労も多かったです。どの科でも例外なく、指導医の先生方は熱心で忙しくも充実し成長を実感できる日々を過ごしています。看護師さんや薬剤師さんなど他の医療関係者との距離も近く、様々なことを気軽に相談させていただいたりして、多職種間での連携の重要性を学ぶこともできました。当直業務では救急患者さんの初期対応を上級医の指導のもと、研修医が自ら考えて鑑別を挙げ・検査をオーダーし、アセスメントして治療を行うことで、多様な疾患について学ぶことができています。研修医は学生時代とは違い、自分の判断や行動が患者に反映され不安なことも多いですが、それを乗り越えた先に成長があり、その成長を最大限引き出してくれるのがこの病院だと思います。少しでもこの病院に興味を持っていただければ、ぜひ見学に来てください。文章だけでは伝えきれない当院の魅力を知っていただき来年から一緒に研修することができれば嬉しく思います。



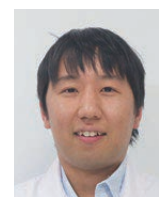
畠健悟



2019年度、シミュレーショントレーニング合宿での懇親会

2020年度研修医 松本直也（奈良県立医科大学卒）

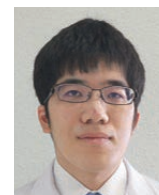
2020年度採用の松本です。西和医療センターの臨床研修は少人数制の研修であるため、症例を取り合うことがありません。研修医の人数が少ない分、指導医の先生方にも名前を覚えていただき丁寧な指導を受けることができます。また、当院では研修医のためのレクチャーが多く、日々様々な知識を身につけることができます。レクチャーには優先して出席できることもあり、研修医の学ぶ環境が整っています。もし当院での研修に少しでも興味がおありでしたら、ぜひ一度見学にいらしてください。研修医一同お待ちしております。



松本直也

2020年度研修医 山下真稔（奈良県立医科大学卒）

2020年度採用の山下と申します。西和医療センターでの研修生活について紹介いたします。当院では病院全体が研修医の教育に熱心で、我々が多くの知識や経験を習得するのに恵まれた環境が整えられています。様々な研修医向けのレクチャーやカンファレンスがあり、非常に勉強になります。先生方も時間をかけて熱心に指導して下さるので多くのことを学ぶことができます。さらに、上級医の先生方やコメディカルの方々がとても親切で、我々は毎日のように助けてもらいながら温かい雰囲気の中で安心して研修生活を送っています。また、救急外来において多くの症例を経験することができることも魅力的であると思います。当院では、研修医が上級医の指導下で初期対応として問診や身体診察、検査を行います。そして、自分自身で考えた後に、上級医と相談して治療を行います。救急外来対応時も丁寧に指導いただけるので大変勉強になります。以上のように西和医療センターにはたくさんの魅力があり、私自身も充実した日々を過ごしています。当院での研修に少しでも興味を持たれた方は是非見学にいらしてください。お待ちしております。



山下真稔

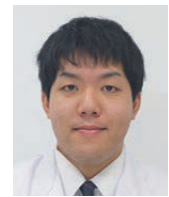


2020 年度研修医 横山友亮（奈良県立医科大学卒）

こんにちは。2020 年度採用の横山友亮です。当院に興味を持っていただきありがとうございます。研修プログラムの魅力をいくつかお伝えしたいと思います。

当院では研修医のために様々なレクチャーや手技実習が行われていて、心電図、エコー、画像診断などを学ぶ機会が多く得られます。また研修医のためのモーニングカンファレンスでは、研修医同士で発表し合い、勉強した内容を共有することができます。日々の業務では上級医の先生方のみならず、コメディカルの皆さんもとても親切で仕事のことを何でも教えていただけます。救急当直では上級医の指導の下でファーストタッチを行うことができ、診察終了後にはフィードバックを受けることができるため症例を担当することによる成長に繋がります。研修医の人数も適度であるため指導がしっかり全員に行き届き、症例の取り合いになることはありません。当直明けは業務を免除していただけたり、iPad を支給していただけたりと仕事の環境も良いので集中して研修に取り組むことができます。日常生活においては、利便性のよい JR 王寺駅の近くにある広くてきれいな医師住宅を格安で利用することができます。出張や買い物の際などとても便利で奈良県とは思えないほど暮らしやすいです。

見学に来ていただければより詳細に当院の雰囲気を知ることができると思いますので、ぜひ一度お越しください。



横山友亮

2020 年度研修医 渡邊正士（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2020 年度採用の渡邊正士と申します。奈良県西和医療センターの臨床研修の良いところは、人数が多すぎず、少なすぎず丁度良く、また指導医の先生をはじめいろんなスタッフの方々と接することができて丁寧に指導して下さい、医師として人間としても成長できる環境と教育体制が整っているところにあります。また、当直や救急外来では、患者さんに対してファーストタッチで対応させていただくことが多く、自らで考えて行動し、その後指導医の先生方が丁寧に指導して下さいます。自分で考えて行動したことに対して教えていただけるので自分で机に向かって勉強する以上の成果を得られていると実感しています。このように自主的に学べる機会が多い点もおすすめできるところです。また、レクチャーやエコーの実習、臨床英語の講義なども定期的に行われ充実しており、自分で勉強するのが苦手な人にもペースメーカーとして勉強する機会を与えてくれます。病院全体で研修医を育てようという雰囲気がにじみ出ています。

現在研修医は 20 人程で研修医ルームが与えられており、1 年目、2 年目ともに距離が近く非常に仲が良く、毎日和気あいあいとしながら楽しくかつ切磋琢磨しながら臨床研修を行っています。

最後に西和医療センターのおすすめポイントとして、自分で本を読んでガツガツ勉強するというタイプよりは指導医の先生や先輩に教えてもらいながら研修していきたい人、忙しすぎず適度に自分の時間を大切にしながら研修生活を送りたい人、この二つのどちらかに当てはまる人は是非西和医療センターに来ていただければ充実した研修生活を送れることを約束します。是非一度西和医療センターに見学に来ていただければ、さらに当院の魅力を伝えることができると思います。研修医一同お待ちしております。



渡邊正士



2020年度研修医 山田光陽（奈良県立医科大学卒）

こんにちは。2020年度採用の山田です。みなさんはどんなことを重視して研修病院を選ぼうと考えていますか？教育体制、ローテートの選択の自由度、病院の規模、雰囲気、救急受け入れの件数、研修医の人数、待遇、立地、設備の新しさ、3年目以降の専攻医プログラムなどなど、様々な視点で研修病院を探していることと思います。すでに志望の診断科が固まっており、それに合わせて研修病院を探している人もいることでしょう。

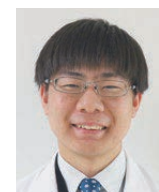
さて、ここでは2年間の研修全体の話をするよりも、「どのように研修を始めるか」を考えてみてほしいと思います。研修初日を想像してみてください。カルテの書き方、処方出し方、物品の配置、診察、手技などなど、少し考えるだけでわからないこと、できないことの多さに不安を覚えているのではないのでしょうか。この不安な気持ちはみんな一緒です。私も不安でいっぱいでした。そんな不安な気持ちを思い出しながら、西和医療センターのことをお伝えしたいと思います。

西和医療センターの研修は必ず内科から始まります。私は腎臓内科から研修をスタートしました。腎臓内科では4人の先生が研修医を指導して下さいます。研修初日から、入職したばかりでなにもできない自分に、小さなことから自分のレベルに合わせて課題を示してもらいました。できそうなことは任せてもらえ、難しそうなことは一緒にやり方を教えてもらえることで、充実した研修を送ることができています。課題をもらって終わりではなく、常に研修医のことを気にかけてもらえます。「なんでこの薬が入ってるかわかる？」「どうしてこのアセスメントになるかわかる？」など、先生の方からもこまめに声をかけてもらえ、小さなことでも気軽に質問ができる環境が整えられています。

腎臓内科で研修をしているからといって腎臓疾患や透析患者さんだけを診るわけでは決してありません。最初の1週間だけでも誤嚥性肺炎、脳梗塞、関節リウマチなど、診療科にとらわれず様々な症例を経験させていただきました。研修で回る診療科にとらわれず、幅広く common diseases を経験することができるのも当院の大きな魅力です。

現在は1年目、2年目とも10人で研修しています。多すぎるほどでもなく、指導医の先生や看護師さんに顔を覚えてもらえ、かといって少なすぎて寂しくなることもなく、お互い助け合える、ちょうどいい人数です。1年目と2年目が必ずペアで当直に入ることができるというメリットもあります。広々とした研修医室もあり、電子カルテは一人一台配布され、かなり過ごしやすい環境が整っています。

他にも、日々の勉強会のことや救急外来のことなど、お伝えしたい魅力はまだまだまだたくさんあります。ぜひ見学にお越しください。お待ちしております！



山田光陽





#### 2021 年度研修医 市居大季（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2021 年度採用の市居です。西和医療センターの魅力についていくつか話したいと思います。

1 つは研修医の人数です。当院の研修医は、1 学年で 10 人、2 学年合わせても 20 人と、多すぎず少なすぎず、ちょうどいい絶妙な人数だと思います。症例の取り扱いなどは起こらず、全員に均等に機会が回ってくるので、経験を積むことができます。1 つ 1 つの症例や手技について丁寧に指導していただき、しっかりと学ぶ機会、手技を実践する機会を得ることができます。

当直では、救急外来にきた患者さんにファーストタッチで対応させていただけます。自分で問診をし、検査をオーダーし、自分で考えて患者さんを診ることができます。また、実際に行ったことについて、指導医の先生からフィードバックして指導をしていただけます。自分で考えて、自分で行動し、また、そのことについて教えていただけるので、机で勉強する以上の成果が得ることができると思います。

また、レクチャーが多いのも魅力の 1 つです。様々なレクチャーがあり、その 1 つ 1 つが、実践的な内容で、研修をするうえで非常にためになります。特に、毎週金曜日にある中村孝人先生のレクチャーでは、実際に経験した症例をもとに振り返りを行い、疾患だけでなく、診察についても学ぶことができます。

もし、奈良県西和医療センターに興味がおありでしたら、ぜひ見学にいらしてください。研修医一同お待ちしております。



市居大季

#### 2021 年度研修医 川島遼太郎（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2021 年度採用の川島です。

私は最初に内科 4 か月をローテートさせていただきましたが、どの診療科の先生方も熱心に指導していただき、雰囲気の良い中で研修することができました。また、コメディカルの方も丁寧に教えてくださる方ばかりで、分からないことがあっても誰にでも聞きやすい環境になっています。研修医は 1、2 年目合わせて 18 人と多すぎず少なすぎずのちょうど良い人数です。様々な志望科を持った色々な考え方をを持った研修医が周りにいることで、毎日いい刺激をもらっています。何より当院は救急当直の初期対応は基本的に研修医のみで行っていて、2 年目の先輩方には救急対応や患者の病態について教えていただき、1 年目の同期とは支え合いながら様々な救急症例を経験することができています。ローテートで特に印象に残っているのは呼吸器内科で、基本的な検査や内科処置の手技を自分の技量に合わせて段階的に教授して下さったうえ、深く病棟管理に携わらせていただき初期対応から終末期のお看取りまで患者さんと向き合える時間を多く持つことで自信と責任を持って患者さんと接するようになったと思います。

この病院で勤務して感じるのは、上級医や先輩の研修医の方々、コメディカルの皆さんが 1 年目の研修医をしっかり見てくださっているということです。できていないことや間違っていることがあれば見逃さず指導して下さいますし、成長した部分に関してはしっかり評価していただき先の段階を見据えてより進んだ教育をして下さいます。この点が当院で研修する上で最も魅力的であると考えています。是非一緒に研修医生活を送ってみませんか。お待ちしております。



川島遼太郎

#### 2021 年度研修医 河村健矢（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2021 年度採用の河村健矢です。

僕が研修を終えて、実感した西和医療センターでの研修の良さについてお話しさせていただきます。

当院は病院全体としてとても教育に熱心です。

様々なレクチャーやカンファレンスがあり、非常に勉強になります。さらには当直以外でも内科ローテ中に、救急対応の機会があり、多くの救急症例を経験することが出来ます。

救急対応やカンファレンスの準備、病棟業務などどれも大変なことばかりですが、その分日々学びがあります。

そして上級医、コメディカルの方々、皆さんとても親切に指導していただき日々楽しく研修生活を過ごさせていただいています。

少しでも西和医療センターでの研修に興味を持たれたらぜひ見学にいらしてください。お待ちしております。



河村健矢

### 2021 年度研修医 高橋広太（神戸大学卒）

2021 年度採用の高橋です。これから西和医療センターと奈良県の魅力を伝えさせていただきたいと思います。僕はもともと兵庫出身で奈良にゆかりは全くありませんでした。兵庫での就職を大体決めていたので、単なる興味で近隣地域の病院を探していました。その中で西和は倍率も程々で立地と教育も悪くないと思い興味を持ちました。早速 Zoom での説明会に参加してみました。参加してみたら驚くことに学生 2 人に対して先生方が何十人も参加しておられました。そのときの熱意に感動し、実際にこの目で見てみたいと心から思いました。見学に行き、西和の人の優しさ、奈良の自然と古来の文化の心地よさに触れ、魅力に取り憑かれてしまいました。気づいたら第 5 志望探しから見つけた病院を第 1 志望に上げていました。

研修医は最初知らないことだらけでストレスいっぱいですが、病院に関わる多くの人に支えてもらっているからこそ健全に研修生活が送れているのだと感じます。特に優しい先輩、面白い同期には感謝しかありません。

奈良県に来たのも正解で日々落ち着いた雰囲気癒されています。まだまだ奈良県に関しては素人なのでこれからどう堪能していこうか画策しております。



高橋広太

### 2021 年度研修医 棚瀬万葉（大分大学卒）

初めまして、2021 年度採用の棚瀬万葉と申します。この度は奈良県西和医療センターのパンフレットを手にとって頂きありがとうございます。当院の魅力を少しでも皆様にお伝えできれば幸いです。

当院の魅力は大きく 3 つあると思います。

1 つ目の魅力は、上級医の先生方や全ての医療従事者が親身になって研修医を指導して下さることです。入院患者さんや救急受診した患者さんが診察・治療を受けて自宅や施設に帰るまで様々な職種の方と連携をとりながら医療を施します。上級医の先生から診察方法や鑑別疾患の考え方等を学ぶだけでなく、薬剤師さんから薬の副作用や容量、薬物動態などを学んだり、理学療法士さんと退院に向けてのリハビリ調整をしたり、社会福祉士さんに施設へ帰る段取りをして頂いたりと多職種の方と多方面に関わり医療の仕組みを学ぶことができます。

2 つ目はレクチャーが豊富なことです。1 つの診療科を 1 か月ないし 2 か月ごとにローテートしますが、私は当直や救急外来で患者さんを診察する際に自分が今研修している診療科の思考に偏ってしまいます。放射線読影講義やエコーの練習、心電図の読み方など様々な分野のレクチャーがあるおかげで思考が偏ることなく広い視野で患者さんを診察することができると思います。

最後は何と言っても、優しく教えて下さる先輩方・互いに高めあえる同期の研修医の存在です。どの病院でも体力的・精神的にしんどいことはあると思います。その時に助け合い一緒に成長できる仲間がいることは一生の財産になります。私も幾度となく助けられてきました。

一度西和医療センターへ見学に来て、病院の雰囲気を肌で感じていただけたら嬉しく思います。心よりお待ちしております。



棚瀬万葉

### 2021 年度研修医 辻絢斗（佐賀大学卒）

こんにちは。2021 年度採用の辻絢斗です。当院に興味を持っていただきありがとうございます。当院の魅力を少しでもお伝えできればと思います。

当院の一番の魅力としては、指導医の先生方との距離感が良く、何でも質問しやすい環境であることが挙げられます。当直で様々な先生方と接する機会があるのですが、どの先生方も熱心に指導して下さり、とても勉強になります。

また、エコーや心電図、放射線読影など様々な勉強会が企画されており、幅広い知識を身につける事ができます。そして、救急外来では患者さんに研修医がファーストタッチで対応させていただく場合が多いので、勉強会で学んだ知識を実践する機会も多く、知識の定着も早いと感じています。

当院の研修医は私を含め他大出身者も多く、多様性に富んでおりとても楽しいです。奈良医大出身の先生方との壁もないので、他大の方でも気後れせずに来ていただければ嬉しいです。先輩の先生方との仲も良く、困った際はすぐに助けてくださり非常に心強いです。

当院の雰囲気の良さは実際に見学に来ていただければすぐに伝わると思いますので、ぜひ病院見学にお越しください。



辻絢斗

い。お待ちしております。

#### 2021年度研修医 辻本虹歩（香川大学卒）

この度は、西和医療センターでの初期研修に興味を持ってきてくださりありがとうございます。今この文章を読んでいるあなたがもしもまだ見学に来たことがないのなら、今すぐに見学の申し込みをすることをおすすめします。というのも、パンフレットやホームページではその病院の雰囲気などを本当に意味で知ることは難しいからです。私は西和医療センターがどんな病院なのかあまり知らずに見学に来たのですが、ここで働く医師やコメディカルの方々の雰囲気に魅力を感じ、その日のうちにこの病院が第一志望になりました。実際に働き始めて、同期や先輩の研修医の先生だけでなく指導医の先生方やコメディカルの方々に毎日のように助けられて過ごしています。この環境でなければここまで一生懸命研修に取り組むことはできていないと思います。初期研修の2年間は精神的にも体力的にも辛い場面がたくさんあると思います。この病院だったら2年間を自分らしくしっかりと頑張ることができそう、と思える病院をぜひ見つけてください。あなたにとってその病院が西和医療センターであることを願っています。



辻本虹歩

#### 2021年度研修医 中西祥子（徳島大学卒）

こんにちは。2021年度採用の中西です。

研修を通して実感した西和医療センターの良さを少しでもお伝え出来ればと思います。

西和医療センターにはスキルアップのための豊富な勉強会、研修医が自分で設定できる柔軟な研修プログラム、病院と駅の両方に近い利便性の高い下宿先、医局と独立した研修医ルームなどたくさんの魅力があります。そして何よりも医師間、多職種間の仲の良さが1番だと思います。

初めての当直で不安な中、看護師の方が「大丈夫だった？」と声をかけて下さり、翌朝上級医や先輩研修医が「分からなかったところがないか見直そうか」と一緒に復習して下さい、心強いサポートで乗り切ることが出来ました。今も病棟や救急の現場で熱心で親切な指導医や先輩研修医、頼れる看護師の方々に支えられ励まされて学ぶ日々です。

ぜひ一度見学に来てください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



中西祥子

#### 2021年度研修医 西崎友哉（奈良県立医科大学卒）

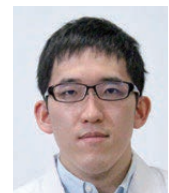
初めまして、2021年度採用の西崎です。

奈良県西和医療センターでの研修に興味を持っていただきありがとうございます。

当院での研修は、まず内科系を2ヶ月ローテートしカルテの書き方や処方の仕方など基本的な業務を学ぶことから始まります。最初は簡単な事でも時間がかかり苦労もありますが、少しずつ着実に力をつけていくことができます。私の場合は呼吸器内科を選択したのですが、薬剤師さんや理学療法士さんなどコメディカルの方々と連携や在宅酸素療法の導入など、内科病棟業務の基本を学ぶことが出来ました。また、動脈採血など基本的な手技の習得はもちろんのこと、5月には胸腔穿刺も経験することができ、技術面においても大きく成長することが出来ました。

そして、その後1年目は必修科目を中心にローテートし、診断や治療に必要な基本的知識・技術を身につけていきます。この文章を書いている今は麻酔科をローテートしていますが、かなりの数の気管挿管を経験することができ、Aライン確保や腰椎穿刺などについても十分な数をこなすことが出来ます。教育熱心な先生方と親切に接して下さるコメディカルスタッフの方々に支えられ、日々成長を実感しながら充実した研修生活を送ることができます。

その他にも、豊富なレクチャーやテルモ合宿など、楽しく勉強できる環境が整っています。当院での研修に少しでも興味を持たれた方は、ぜひ1度見学にいらしてください。研修医一同お待ちしております。



西崎友哉

2021 年度研修医 齊藤正一郎（奈良県立医科大学卒）

こんにちは、2021 年度タスキの齊藤と申します。

西和医療センターでの初期研修の最大の特徴はなんと言ってもそのフレキシブルさにあります。

病床数は 300 床と大病院とは言えませんが、その分先生同士の距離が近く、やる気さえ示せばなんでもやらせてもらえ、経験することができます。

太平洋戦争時の折、連合艦隊司令長官であった山本五十六の有名な言葉に「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」というものがあります。西和の先生方やコメディカルの方々は皆さん大変優しく、この言葉通りの教育を僕は西和の研修で日頃から感じることができています。

2 年目になると奈良県立医科大学などの関連病院での研修も行うことができ、血液内科や脳神経内科など西和医療センターにはない診療科の研鑽の補填はしっかりされることになります。

このように小規模病院の良さを生かしつつ、デメリットも埋めるシステムが整っているのが西和医療センターという病院ですが、逆に言うと自分で研修システムを良い方向に変えていこうというマインドが全くない人や、そもそもあまりやる気がない人には向いていないかもしれません。フレキシブルさや先生方の優しさが仇となりいわゆるハイポ病院での研修に近いものになってしまいます。

西和医療センターは日々の研修に対して改善点を見つけていけるようなマインドのある研修医、「それ、やらせてください」と言える研修医を求めていますし、僕もそのような後輩と研修を一緒にできたらいいなと思っています（まあこれを読んでくださる後輩の先生方が西和で働き始める時僕はもういませんけど笑）

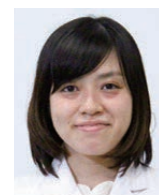


齊藤正一郎

2021 年度研修医 藤中加奈（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2021 年度採用の藤中と申します。奈良県立医科大学附属病院 B（通称たすき）プログラムで初期研修の 2 年のうちの 1 年目の研修を西和医療センターで行いました。当院での研修が決定してから研修がスタートするまで病院や職員の皆様に馴染むことができるだろうかと不安もありましたが、杞憂でした。春からの研修生活で実感している当院の魅力は指導医だけでなく病院全体のスタッフの方々の心遣いの細やかさです。当院の初期研修医は救急外来でのファーストタッチ、病棟業務、種々の手技などを最前線で行います。そのような恵まれた日々は病院全体が私たちの主体性を重んじ、かつ近くから指導・サポートして下さる環境により成り立っています。2 年目研修医の先生も 1 年目研修医にその時々様々なアドバイスをしてくださり、とても良好な関係を築けています。またレクチャーなどの多さも当院初期研修プログラムの魅力ではありますが、多様な業務を行いながら勉強会に出席することは容易いことではありません。それでも業務外での学びの機会を享受できるのはこれらの活動に対する参加を病院全体があと押ししてくださっている背景があるからだと感じています。この雰囲気は初期研修医一人一人のやる気へ繋がっており、私個人としてはとても感謝しております。

総じて、私たち研修医の声によく耳を傾けてくれる病院です。より良い研修の形を求めて指導医の先生のみならず、研修医も一丸となって取り組んでおります。ぜひ、当院の初期研修プログラムにご興味を持たれました方は、見学・Web 見学にいらしてください。初期研修医をはじめ病院全体で皆様をお待ちしております。



藤中加奈

2022年度研修医 上野慎治（山口大学卒）

初めまして、2022年度採用の上野慎治です。

私は最初に呼吸器内科を2ヶ月ローテートさせていただきましたが、その2ヶ月間で非常に充実した研修生活を送らせていただきました。自分で患者さんに直接会いに行き患者さんの状態を把握し、検査をオーダーしてその結果から患者さんに最善の治療を考えるといった本当に将来の役に立つ研修をさせてもらっています。自分一人で考えるのではなく、自分で考えたことを指導医の先生に相談して適切なアドバイスをさせていただくという手厚い指導のもと研修しています。呼吸器内科にローテート中であっても他の科の先生に相談すれば親身に相談に乗っていただけます。西和医療センターは研修医にとって非常に有意義な2年間を送れる環境になっていると思います。

また、臨床業務以外に勉強会も非常に充実しています。例えば、中村先生の総合内科カンファレンスは身体診察の重要性や、救急外来に運ばれてきた患者さんの初期対応の基礎など研修医にとって非常にためになる勉強会となっています。

西和医療センターでの研修を通して、当センターは指導医の先生方はもちろん、先輩方やコメディカルの皆さんが研修医をしっかりと見てくださる非常にアットホームな病院だと感じています。是非一度、病院見学に来て西和医療センターの雰囲気を感じ取ってください。

2022年度研修医 大久一樹（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2022年度採用の大久です。

僕が臨床研修を通して実感した当院の最大の魅力は、研修医教育への熱意がとて強いということです。上級医の先生方だけでなく、看護師さんや他のコメディカルの方々が、私たち研修医に対してとても親身になって指導して下さります。また、総合診療カンファレンスや放射線読影講義、超音波セミナーなど様々な勉強会が企画されており、研修医に必要な様々な知識・技術を身に付ける事ができます。そして何よりも、病院全体で臨床研修をより良くしていこうという雰囲気があることが私が当院での研修を選んで良かったと一番感じる所です。

当院は大学病院のような大きな病院ではないですが、その分、研修医が救急外来のファーストタッチの対応をさせて頂けたり、スタッフ同士の距離が近かったり、病院一丸となって患者さんの診療や私たち研修医への教育に取り組もうという雰囲気があったり、当院ならではの魅力がたくさんあります。

ぜひ一度、西和医療センターの見学に来ていただき、その魅力を存分に感じて下さい。お待ちしております。

2022年度研修医 河本瑛仁（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2022年度採用の河本です。

西和医療センターでの研修に興味を持っていただきありがとうございます。

私が当院を選んだ理由は、熱心な教育が受けられることや、救急患者のFirst-touchの機会が豊富なこと、研修医の人数、雰囲気、などなど枚挙に暇がありません。実際に研修してみて、当院の魅力をあらためて実感しています。

研修内容等に関する生の声は他の研修医の紹介文を参考にさせていただくとして、私がお伝えしたいアピールポイントは、病院スタッフの方々と距離感が近いことです。研修は自分次第とは言いますが、教育熱心な先生方は勿論、親切的なコメディカルスタッフの方々、とても頼りになる先輩方、心技体を互いに切磋琢磨し合える同期の存在は医師として最初の2年間の成長における大きなアドバンテージになるはずです。

是非一度、見学にいらして下さい。当院の雰囲気を直接感じていただければと思います。西和医療センター職員一同、心よりお待ちしております。



上野慎治



大久一樹



河本瑛仁

2022 年度研修医 中若菜 (福岡大学卒)

初めまして、2022 年度採用中です。

西和医療センターは上級医の先生方だけでなく多職種の方々ともとても距離が近い病院です。研修医が困っているとみなさん助けてくださったり、指導もたくさんして下さります。日常の業務の中でだけでなく、心電図・エコー・画像読影など豊富なレクチャーでも知識を深めることができます。病院全体が研修医を育てようとしてくださっていることを強く実感し、1 年目の最初で何もわからない状態であっても、毎日親切なスタッフの皆さんに助けていただいています。

また私は他県の大学出身で初めは緊張していましたが、奈良医大出身の先生方や同期とも壁を感じることなく楽しく働いています。ですから、もしも他県出身ということを気にされている方がいらっしゃったならそれは心配されなくて良いと思います。研修医は関西だけでなく各地方の大学から集まっています。人数も1 学年 10 人前後とちょうどいい人数で、互いに教えあったり助け合ったりと楽しく研修生活を送れています。

興味を持たれた方はぜひ1 度病院見学に来てください。この病院の魅力をもっとお伝えできればと思います。



中若菜

2022 年度研修医 中川こころ (奈良県立医科大学卒)

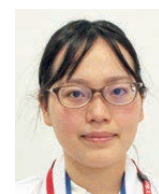
はじめまして、2022 年度採用の中川こころです。

当院の研修環境の魅力についていくつか述べたいと思います。

1 つ目は上級医の先生方だけでなく、コメディカルの方々も我々研修医をととても丁寧に指導して下さることです。先生方はお忙しい診療の合間を縫ってレクチャーやレポート添削をしていただいたり、看護師の皆様からも手技のコツを教えていただいたり、日々温かくご指導していただいています。

2 つ目は豊富な勉強会があることです。臨床研修と合わせて総合診療カンファ、読影セミナー、腹部エコーセミナーなど、非常に為になる勉強会を多数経験しています。仕事ですぐに役立つ内容が多く、日々の診療の中で勉強会の復習が出来ていると感じています。

3 つ目は研修医へのサポートがとても手厚いことです。例えば、2022 年度から研修医に対して電子カルテ端末が1 人1 台支給されました。これによりカルテチェック、退院サマリやレポートの作成などが格段に便利になりました。他にも細かい点を挙げればキリがないほど良い研修環境だと感じています。是非一度見学にいらっしゃってください。



中川こころ

2022 年度研修医 堀木翔太 (愛媛大学卒)

初めまして、2022 年度採用の堀木です。臨床研修を通して感じた西和医療センターの魅力をお伝えしたいと思います。

1 つ目の魅力は、上級医の先生方との距離が近いことにあります。研修を始めたばかりの頃は、やる事なすこと全てが初めてで、わからないことが多くあります。しかし、その都度上級医の先生方に丁寧に、親身になって教えて頂けます。日々の問診、診察、処方、些細な事であってもしっかりと聞ける環境というものはとてもありがたく、安心できる部分でもありますし、また成長できる機会でもあります。

2 つ目は豊富なレクチャーです。定期的にレクチャーがあることで、自分がその時ローテーションしている科以外の知識や考え方を知る事ができますので、特に幅広い知識が必要となる救急対応に役立つことを多く学べます。

3 つ目は研修医の数です。1 学年 10 人程度と少なすぎず多すぎず、症例を取り合うようなこともありません。なので、色々な経験を積ませていただけますし、また研修医同士の横のつながりも深く、お互いに高めあう事ができます。西和の魅力は私がこの場で書かせていただいた事が全てではありません。是非、病院見学に来ていただき、より多くの魅力を知ってもらいたいと思います。



堀木翔太

2022 年度研修医 三好真緒（奈良県立医科大学卒）

こんにちは、2022 年度採用の三好真緒です。

私は病院見学で西和医療センターを訪れた際、先生方はもちろん、コメディカルのみなさんのあたたかい雰囲気、人柄の良さ、そして医療に対する真摯な姿勢を目の当たりにし、見学その日に当院が第一希望の病院になりました。そして豊富な勉強会に柔軟な研修プログラムの用意されているこの病院なら、初期研修の2年間、心身ともに成長できると直感的に感じました。そしてその直感は今、限りなく確信に近づいています。

臨床研修が始まり、指導医の先生方、そして研修医の先輩方から熱心にご指導頂き、看護師さんはもちろんコメディカルの皆様方に大いに助けて頂きながら、日々成長を感じつつ楽しく充実した研修生活を送っています。これを書きながら振り返ってみれば、今は、そしてこれからも、当院で初期研修がでることに心から感謝しています。

是非一度、西和医療センターの雰囲気を肌で感じにいらして下さい。もし、あなたの直感にも響くものがあつたのなら、ポンと背中を押して差し上げたいと思います。一緒に成長できることを楽しみにしています。



三好真緒

2022 年度研修医 元木碧人（奈良県立医科大学卒）

はじめまして、2022 年度採用の元木です。西和医療センターで臨床研修をおこない、その中で感じた西和医療センターの魅力についてお話させていただきたいと思います。

僕は当初、働き出すことに対して不安がたくさんありました。皆さんもそうだと思います。しかし、西和医療センターには病院全体で研修医を育てようとしてくださる教育体制が整っており、丁寧に一から教えてもらうことができるため、研修医としてスタートするのに最適な環境だと思います。先生方はもちろん、コメディカルの方々がとても親切で、様々な職種の方と関わることで多角的な目線で教わることが出来ます。

ローテーションをととも自由に決めることができる点も魅力だと思います。柔軟にローテーションを組め、西和医療センターにない科は奈良県総合医療センターや奈良県立医科大学などに行くこともできます。また地域実習では神奈川県三浦に行くことができるのも良い点ではないでしょうか。

レクチャーの件数も適切であり、必要なレクチャーを受けることが出来ます。多すぎて消化しきれないということもなく、また自身の回っている科の業務の支障をきたすこともありません。また、研修医の人数も1年目2年目合わせて、約20人であり、少人数でレクチャーを受けることができます。

ダラダラと話してしまいましたが、もし西和医療センターに興味を持っていたければ幸いです。少しでも興味を持っていただいたら一度見学に来てみてください。1日だけでも西和医療センターの魅力を感じられると思います。お会い出来る日を楽しみにしています。



元木碧人

2022 年度研修医 安田由利子（奈良県立医科大学卒）

こんにちは、2022 年度採用の安田と申します。この度は西和医療センターに興味をもってくださいありがとうございます。私が初期研修病院を探すにあたり重視していたのは、勉強会などの座学的な学びと実践的な学びがどちらも充実していることでしたが、この点において西和は理想的な病院だと思います。

勉強会といっても実践的なものが多く、放射線読影講義やエコーのレクチャー、心電図の読み方など明日から使える知識を学ぶことができます。救急外来でのファーストタッチ、病棟業務、様々な手技を行う機会があればどんどんやらせていただけるため、勉強会で得た学びをすぐに生かすことができます。指導熱心な指導医の先生方や2年目の先生方、心強い看護師の方々がこまめに指導・サポートして下さるので、学びという点において申し分ない環境です。

また、西和で働く方々の人柄は大きな魅力だと思います。惜しみなく時間を割いてレクチャーして下さったり、業務に慣れない身でつらくないか気にかけて下さったり、たくさんの方々に支えられながら日々の研修生活を送っています。こういった優しさは勿論個人のものですが、病院全体の雰囲気としてもあるように感じます。紙面だけでは西和の魅力は全く伝えきれませんので、ぜひ一度見学にいらして下さい。皆さんとお会いできるのを心待ちにしています。



安田由利子

2022 年度研修医 横山仁美（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2022 年度採用の横山仁美です。この度は西和医療センターでの初期研修に興味を持っていただきありがとうございます。

当院の魅力は、勉強会が豊富な点、研修プログラムがフレキシブルな点、救急の初期対応をさせていただける点など多岐に渡りますが、なによりも医師やコメディカルの方々の雰囲気の良いところが最大の魅力だと思います。先輩の研修医や上級医の先生方だけでなく、看護師や薬剤師など様々な職種の方々が丁寧に指導して下さいます。

私はローテートの最初に総合内科を選択したのですが、「まずは慣れることが大事」と、カルテの書き方など基本的なことから優しく教えていただきました。そして先生方およびコメディカルの方々のサポートの元、手技や診察、病棟管理について多くのことを学びました。患者さんの診察を行い、鑑別を挙げ、必要な検査や治療を考え、上級医にフィードバックをいただくことで、着実に実力をつけることができます。「分からないことがあればいつでも何でも質問してくれると嬉しい」と仰っていただき、心理的安全性が非常に高い環境であると感じました。

少しでも当院での研修に興味を持たれたら、ぜひ一度見学にいらしてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



横山仁美

2022 年度研修医 川西修平（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2022 年度採用の川西修平と申します。奈良県立医科大学附属病院B（通称：たすき）プログラムで初期研修の1年目を西和医療センターで行っています。

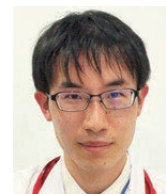
当院の魅力は、研修医の指導が手厚いことが挙げられます。指導医のみならず、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、他にも様々な職種の方が研修医に教えて下さります。

研修医が一つ医療手技を行うにしても、まず指導医が手技の経験を研修医に勧めて下さります。そして、実際指導医に横で見てもらいながら研修医が手技を行います。その後、行った手技の評価や補足情報を教えて下さります。手技がうまく出来なかった場合でも、優しく改善点を指摘していただけます。

仕事上での指導以外にも、研修医主体で行うモーニングセミナーや、放射線科による画像診断講座、超音波エコーセミナーなど、実臨床で必要となる手技を学ぶ事が出来ます。

自分自身の成長を実感できる環境が当院にはあると感じています。私は、この病院に就職できて良かったと実感しており、とても感謝しております。

当院での研修に少しでも興味を持った方は是非1度見学にいらして下さい。心よりお待ちしております。



川西修平

2022 年度研修医 北風真子（奈良県立医科大学卒）

こんにちは。2022 年度採用の北風です。短い紹介文ではありますが、少しでも当院の雰囲気や魅力をお伝えできればと思います。

西和医療センターは病院全体が研修医の教育に対して高い意識を持っていると感じています。様々な勉強会、エコーや画像読影のセミナー、カンファレンスなどが企画されており、外部から講師が来てくださることも多く幅広い学びを得ることができます。働き始める前は勉強会が多いと負担にならないか心配でしたが、いまのところ負担には感じていません。むしろ働いていると自分の知識不足、経験不足を痛感する毎日なので、勉強する機会があることはとてもありがたく思っています。また、スタッフの皆さんも研修にとっても協力的で、不慣れな手技でもたついたりした時もあたたかく見守りアドバイスをくださる方ばかりです。

研修医全体の雰囲気もとてもよく、研修医ルームではみんなで採血の練習をしたり、分からないことを一緒に調べたり教え合ったりと楽しく過ごしています。先輩研修医の先生方も親切に色々教えてくださりとても心強いです。周りの真面目さ優秀さに感化され、不出来な私も何とか頑張っています。一緒に頑張る仲間、尊敬できる先輩がいなければもっと怠けていたと思います…。

ここまで色々書いてきましたが、百聞は一見にしかず！実際に病院に見学に来て、雰囲気を感じ取っていただくのが1番だと思います。ぜひ見学にいらしてください。皆さんとお話できるのを楽しみにお待ちしております。



北風真子



2022 年度研修医 水野雄貴（奈良県立医科大学卒）

初めまして、2022 年度採用の水野雄貴と申します。この度は西和医療センターに興味を持っていただきありがとうございます。西和医療センターでは非常に充実した研修生活を送っております。西和医療センターの魅力に、指導医の先生方を始め、スタッフの方々が非常に教育熱心なところがあります。正直なところ研修当初は分からないことばかりで、小さいこと一つするにも苦労していました。しかし、当院のスタッフの方々はいつでも親切にそして丁寧に教えてくださるので、日々少しずつ成長を感じることができます。特に救急当直では上級医の先生の下で、問診、身体診察、鑑別、検査、治療方針などを自分で考え、すぐにフィードバックしていただけるので、一つ一つの症例から多くのことを学ぶことができます。他にも豊富な勉強会を設けていただいたり、一人一台電子カルテのパソコンが用意されており、いつでもカルテを確認できるようにしていただいたりなど、よりよい研修ができるように先生方が研修医の意見を聞いてくださいます。

このように西和医療センターの魅力をいくつか紹介しましたが、他にもたくさんあります。見学に来ていただければより多くの魅力を伝えることができると思います。研修医一同お待ちしております。



水野雄貴

### 病院説明会

奈良県西和医療センターは、関西地域での病院説明会に参加しています。

詳細については、QR コードをご確認ください。



また、当センターは独自で Web 説明会を開催しております。P.99 に案内を掲載しておりますのでご覧ください。